

ハ乙女

編集 南山見公民館
発行

平成6年1月25日発行

No. 48

富山県東砺波郡井波町川原崎
TEL (0763) 82-5176

老いてなほ明治の偉容の年新た



箭原美佐尾

寺 教 淨 谷

新春所感

自治振興会長 山本 助次

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、記録的な悪天候に見舞われ、コメの緊急輸入、更にウルグアイランド交渉による農産物の市場開放、コメ市場への参入に対するミニマムアクセスの決定等、昨今の先行不透明な経済状況の中で、特に農業、農村に対し厳しい歴史的な年であった。

思うに、わが日本列島は、米作りを基盤に作られてきた。豊富な水を作り、豊かな緑を育て、日本の文化もそれによって築かれている。また都市生活者も、日本の農業に依存して生きてきている、農業を守ることが、国を守り、日本の文化を後世に伝えて行くという「国民的合意」を従来にも増して、強く求めて行かなければならない。

同時に我々農家も、この非常事態を如何に乗り切るか、厳しい選択を迫られている。これまで培ってきた知恵と行動で、地域の条件に応じ、多様な形態の中から選択し、新しい農業の生産活動を、模索していかなければならないと思う。

地区の公民館活動、各種団体における地域の活動、土地改良区の環境基盤の充実等の中で、明日への地区発展の為、皆様方と共に取り組んでいきたいと思っていますので、益々の御指導、ご協力の程お願い致します。

成年の新春を迎えて

私の夢



山本有紀
(昭和五十七年生)



やっと、私の成年がやってきました。私は体をきたえるために犬と走っています。私は運動が得意です。中でもマラソンが大好きです。苦しいけれども四二、一九五㎞を走りぬくことが私の夢です。そのためにつばうで弱点であるうでの力をつけ、好ききらいをなくし、さらいな野菜も食べてかぜをひかない強い体をつくりたいと思います。

今年は六年生になるので、ピアノに書道、いろいろとがんばりたいです。

今年の僕のゆめ



長田祐輔
(昭和五十七年生)

明けましておめでとうございます。今年は僕にとって、ラッキーな成年です。中学校への進學と、年男のダブルチャンスの年です。今年は勉強に、運動にはげんできたいと思っています。そして、友達とのふれあいを大切にして、目標に向かってがんばりたいと思います。それが今年の僕のゆめです。

これからの私

亀田秀一
(昭和四十五年生)

昨年は、社会人一年目だったため、全てが初めてづくしで、周りの諸先輩方には、いろいろと面倒を見ていただきました。今年は、仕事に慣れ



る時期も過ぎ、言い訳のきかない、実力の問われる年になると思います。ところで、新年を迎えるにあたり、毎年の事ながら抱負(課題)を持つとうかと思えます。一つは、「余暇を充実させる」で、冷静に自分を見詰め、欠点を補い、長所を伸ばそうと思えます。

抱負を持つ事は簡単ですが、実行に移すのが大変です。実行する事が最大の抱負かもしれません。

新年を迎えて

朝倉小百合
(昭和四十五年生)



昨年は、女性として、料理や着付など習い事をしようと思っていたのですが、仕事の方が忙しくて、結局何も出来ずに年を過ごしてしまいました。今年こそは、ゆっくりと一步一步自分のやりたい目標

三度目の干支を迎えて

高田多真美
(昭和三十三年生)



向かって、着実に、手がけて見ようと思えます。またいろんなスポーツに挑戦して丈夫な体を作り、良い年を過ごしていこうと思えます。

おめでとうございます。今年も、私にとって三度目の干支です。長女の中学進學、夫の厄年、と節目の年と感じています。新年にあたり今年の目標は、一つ、仕事は私にまかせておけばいいよふだと言われるように。二つ、家族みんなが健康でいられるように。三つ、趣味のビーチボールで一つでも多く勝てるように。

以上の事をいつも心において毎日充実した日々を送りたいと思っています。地域の皆様またよろしくお願ひ致します。

一所懸命・一生懸命

武田 三嘉
(昭和三十三年生)



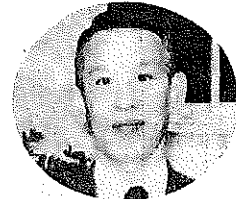
「人生五十年、
下天の内にくらぶれば、夢まぼろしの……」これは、信長が好んだ幸若舞の敷衍の一節であるが、現在は人生八十年である。

われわれが人生を振り返ってみるころには、人生百年と言われているにちがいない。今年、三度目の戌年を迎え人生のゴールははるかに遠く、楽しいことばかりではないであろう。人生を輝いたものにする為、何事にも努力をおします、チャレンジすることを常とし、一所懸命、一生懸命、頑張りたいと思う。
そうすることによって、人生八十年であれ、百年であったとしても、楽しく、笑顔のたえない人生となるにちがいない。



日々に感謝して

佐藤 三津男
(昭和二十一年生)



戦後のベビーブームに生まれた私たちが、菓子屋さんには、空瓶だけが並んでいる状態であったと聞いています。南山見小学校へは四五名入学しました。

マーシ園の門の横には今も数本の桜が思い出を覚えているでしょう。今、スーパには季節を感じさせずいつでも、なんでも欲しいものが手に入る時代、先輩諸氏の日々の努力に感謝するとともに、物を大切にすることを失わず繁栄に努力しようと思う。子供達のためにも。
今年が戌年、良い作り年といわれています。景気と豊作を期待して！！

私の人生

川原 一若
(大正十一年生)

明けましておめでとうございます。小さい時に父に別れ、月日の経つ



のは早く、戌年六廻り目を迎えありますがたく思っています。
昔は人生五十年と言われていました。

ましたが、もう七十歳も過ぎ、いろんなことにぶつかりましたが、今では可愛い孫達にかこまれ、あれや、これやと遊んで楽しく幸せに暮らしています。

これからは一日一日を大切に感謝の気持ちで過ごしてゆきたいと思っています。

健康に感謝して

田中 孝一
(明治四十三年生)



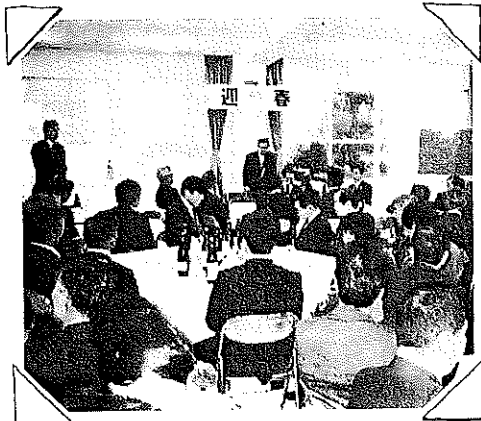
あけましておめでとうございます。七回目の戌年の新年を迎えました。この年になると、元

気で日々を送ることが、一番幸せなこと、毎日二キロ程の道を、五分余りかけて散歩して来ることが、

新年のつどい

日課の一つとなっており。おじいちゃん、おじいちゃんと言ってくれる曾孫や家族にかこまれて今年も身体に気をつけて元気な日々を過ごしたいものと思えます。

好天に恵まれた一月四日午後二時恒例の南山見地区「新年の集い」が自治振興会、公民館で共催。公民館のホールで、来賓に清都町長始め北田町議会議長ならびにご帰郷中の綿貫代議士を迎え、八十余名の地区参会者と歓談終始盛会であった。



八乙女文化祭に 参加して

前日の雨に変わって、朝から好天に恵まれ、第一六回文化祭が盛大に開催された。外ではマレットゴルフや各部会の売店が連なる。屋内では老人クラブ、婦人会、児童クラブの手のこんだ作品がずらり、不作とはいえ農作物もずらり、ジャンボカボチャ等変化にとんだ展示だった。

ステージでは「ねむっちゃだめよかえるくん」のオペレッタに始まり、児童クラブの余興、ピアノ独奏、次から次へとステージは早変わり、三

味線に合わせ民謡そして踊りの輪、雰囲気も絶好調、アンコールの声も飛ぶほど燃えあがった。

バザーも売行き好調、婦人会も今回はリサイクルの一環として、遊休品バザーのみとしたら売上高もあがり、おまけに、たんぼぼ学級より婦人会の売店のない分売上げが伸びて感謝された。南山見地区の全員が集まったようなにぎやかな文化祭だった。

最後の反省会の中で、各種団体の結果報告があり、皆んで美酒を交し満喫することが出来ました。

松井正子



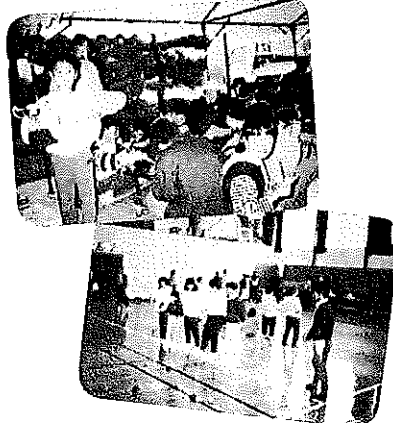
第3回 ペタンク大会

十一月十三日地区の第三回三世代交流ペタンク大会が行われました。あいにくの雨模様になったので室内での競技となりましたが今年も昨年よりチーム数が多く大変喜ばしいことと思われました。男子の部四チーム

女子の部六チーム、ファミリーの部三チームの十三チームで始まり、競技中に女子チームの中で、この大会に初めて参加したが、「なんとという面白い競技やね」と大変喜んでここに顔でした。年代を問わず誰にも出来てあまり勝負にこだわらず和気藹藹の中に出る競技で私達も楽しく出来ました。特にファミリーの三チームの子供さんの顔がキラキラ輝

いて真剣にしたあと、歓声をあげて居られる姿を見た時にスポーツを通じて人と人との和を広めて行くことの大切さを感じました。競技が終わって、参加者の皆さんとパーベキューを楽しんだときの喜びは格別で、これからの親子のきずなが強く結ばれるよう盛り上がりをお願いします。

山崎みよ子



平成五年 婦人防火クラブ 防火標語入賞者

応募総数九一八点(南山見から一〇四点の応募があり、内二名が入賞)

もう一度見直すくらいが火を守る

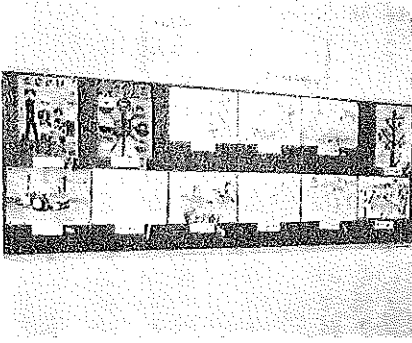
火を使うのも消すのもあなたの手で責任で

川原崎

碓井久美子

院瀬見

蓮田幸美



青少年育成町民会議

家庭の日ポスター入賞者

- 一年 田中優一 吉田由香里
- 二年 田村繁薫 山崎有佳里
- 三年 田中千尋 亀田朝美
- 四年 碓井恭史 三浦竜太
- 五年 高橋雄大 山本愛子
- 六年 武田務 片田己奈子

児童クラブ クリスマス



12月19日、公民館において児童クラブクリスマス会が開催され、児童と父兄120余名が参加、2人のサンタクロースからプレゼントを貰い、子供達は大喜び。女子児童の手作りのおいしいケーキを食べて楽しいひとときをすごしました。 武田幸子

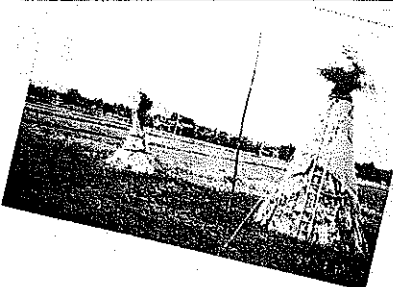
左義長の今昔

篠原笑子

今日の左義長は、当日に近い日曜日に、PTAの会員が繰出で作られますが、私達の子供の頃は、当日授業が終わると上級生達が学校の廊下を「トシトク」やぞと、下級生を誘ったものでした。早速左義長の決められた場所に集まり、上級生の指示に従い女子は雪踏み、男子は竹藁等の材料集めに回り、当時は雪が多くてひざまで雪にうまるという子供にとっては大変な仕事だったと思います。男子が集めた材料の藁をみんなで竹

に付け、冷たく、真っ赤にかじかんだ手に息を吹きかけながらの作業でした。でも少しづつ竹が立ち左義長が出来上がる頃には、冷たさもわずれ満足感でいっぱいでした。夕食後みんな揃ったところで火をつけ書き初めや餅を焼いてもらうのが楽しみでした。翌朝は暗い内に起き出して、鳥追いや小豆汁を実のなる木々に与えたくさん実がなるように、また無病息災を祈ったのも、なつかしい思い出の一つです。

今は子供が少なくなり、ほとんど大人の手で作られ、伝統行事の形は続けられています、何か少し欠けているようにも思われます。



祝 ご成人 おめでとう ございませう

一月十五日成人者にふさわしい晴天に恵まれ、成人者に来賓や恩師の方々よりお祝いと激励のお言葉がおくられました。当地区より銅俊一さんが「二十歳を迎えて」と題して、これからは井波町の益々の発展に貢献してまいりますと活発に発表されました。

二十歳を迎えて

銅 俊一

私は高校を卒業してすぐに就職し機械製造業にたずさわっています。これまでの学校という定まった枠

の中で、温かい恩師や友人に見守られた生活とは違い見知らぬ人ばかりの中、仕事の事も全くわからず、毎日が不安との闘いでした。しかし、そんな中でも、与えられた仕事だけは精一杯やってきました。また人との接し方にも気を付けてきました

が、振り返って見ると、私はあたりさわりのない相手にならなりました。相手に合わせる必要ですが、



合わなくとも素直な気持ちで自分の意見を主張する事も必要だという事を最近感じています。そして人の気持ちも自分の気持ちとして受けとめ相手のことをもっと理解することができればお互いにもっと信頼しあえると思うのです。嬉しい時に喜び、悲しい時共に悲しみ合ったり、親身になって感動できる事を素敵に思います。

二十歳になった今、自分がこれからどうあるべきなのかと考えてみましたが、正直な所強い決意は見つかりません。しかしこれからは今までの以上に多くの人と接する機会があるはずで、その上で心がけたい事は、ささいな事でも相手の立場に立って考え、思いやりの心を持ち誰からも信頼される人になる事です。

最後に家族や友人、今までお世話になった方々に深く感謝し、一日も早く成人者として認められる日が来るよう、毎日を精一杯過ごしていくと共に、井波町の益々の発展に貢献してまいります。

ご寄付

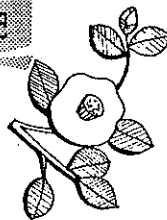
ありがとうございます
公民館備品費 二万円
平成五年度婦人部ご一同様

一月の行事予定

二月二十日(日) 三世代交流
二月下旬 公民講座

編集後記

あけましておめでとうございます。昨年は何かにつけ暗いニュースの多い年でした。ただ皇太子様の結婚だけがすくいでした。公民館では今年度の代表者の方に新年の抱負を語っていただきました。今年も公民館を地区民のよりどころとしておおいに活用し、充実した一年であってほしいと願うものです。



田村玉喜

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 志観寺 | 前田 淳 | 院瀬見第一 | 前川 明 |
| 谷 谷 | 前田 和宏 | 院瀬見第二 | 田中美佳 |
| 谷 谷 | 谷田勝孝 | 院瀬見第三 | 山田康弘 |
| 戸 板 | 亀田博義 | 院瀬見第四 | 田中由美 |
| 里 領 | 高田和代 | 院瀬見第五 | 田中春幸 |
| 里 領 | 松井孝宏 | 院瀬見第六 | 長田英子 |
| 里 領 | 箭原 大 | 院瀬見第七 | 前川保宣 |
| 里 領 | 箭原美祐紀 | 院瀬見第八 | 沢田美祐紀 |
| 南山見町地 | 片田良春 | 院瀬見第九 | 清玄寺 |
| 院瀬見第二 | 松田 隆 | 院瀬見第十 | 連代寺 |
| | | | 連代寺 |
| | | | 銅 俊一 |
| | | | 箭原恵美 |